

新善光寺 寺報 北 縁

2020年5月 Vol. 43

ほくえん

世界中に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症により、ご来寺の皆様の健康と安全を確保するため新善光寺の定例法要も形態を変えておこなったり、僧侶のみでお参りすることにしております。

また月参りやご法事などのお参りも、もしご不安なところが少しでもあれば、何なりとおっしゃっていただきたいと思っております。

朝のお勤めの時や、もし納骨壇をお持ちであればその前で、こちらでご供養させていただくことも可能です。

なお納骨堂及び合葬墓へのお参りは特に制限を設けておりません。

お問合せは電話やホームページの問い合わせフォームからも随時受け付けておりますので、どうぞよろしく願いいたします。



(3月の春彼岸法要は着席してのお参りでなく、焼香のみしていただきました)

住職より

5月の初めまで、お寺の本堂の裏庭には、残雪がありました。この雪は、本堂の屋根から落ちたもので、大変かたく、量があります。その上、北側で日当たりが悪く、さらに、中庭のため、風通しもよくありません。そのため、とけるのに長い時間がかかります。しかしながら、ゆっくりゆっくりと少しずつではありますが、確実に雪はとけていきます。そして、いつの日か雪の下から緑が芽生えるのです。

私たちは今、新型コロナウイルスの影響により、憂鬱で不安な日々を送っています。暗澹^{あんたん}とした昨今ではありますが、とけない雪がないように、この事態も変化していきます。中庭の残雪に励まされる思いがいたします。雪山の手前には、表紙写真のようにシャクナゲの花も咲きはじめました。これから境内には色とりどりの花が咲いていきます。皆さま、どうか心身ともに健康にお過ごしくださいませ。

6月の御忌・永代祠堂法要は 僧侶のみでお参りします

今年度の法要は、僧侶のみでおこないます。参拝はお控えいただきますよう何卒ご理解ください。

法要でご供養(回向)をご希望される方は振込用紙をお送りしますので、お問合せください。なお当日の法要の様子はYouTubeにてライブ配信をおこなう予定です。



御忌・永代祠堂法要 ライブ配信 6月21日(日) 14時開始(予定)

「新善光寺 youtube」で検索してください。

御忌・永代祠堂法要とは…

「御忌」とは簡単にいうと浄土宗を開かれた法然上人の法事のことです。命日は1月25日で、現在はあたたかくお参りしやすい4月に全国のお寺でおこなわれておりますが、新善光寺では北海道の気候を考慮して6月におこなっております。

阿弥陀様を信じて南無阿弥陀仏と唱えれば必ず救済を受けて平和な毎日を送り、浄土に生まれることができるという万民救済の教えを広め残してくれたことに感謝する法要です。

また併せて永代祠堂法要もおこなっております。本堂須弥壇の上に位牌札をお祀りし、毎日順繰りに回向しております。この法要ではお祀りしている全ての精霊様を一斉に回向・供養いたします。



新善光寺では随時、永代祠堂を受け付けております。
永代祠堂 一霊位様二十万円

京都 団体参拝旅行中止のお知らせ

この「ほくえん」でも前回と前々回に開催をお知らせしておりました10月7日からの総本山知恩院参拝をメインとした団体参拝旅行ですが、新型コロナウイルス感染症の予見が依然難しい状況から中止とさせていただきます。

ご参加を楽しみにされていた方々には大変申し訳ございませんが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

※この旅行につきましては、来年にまた計画する予定です。

毎月、知恩院が発行している広報誌「華頂」に大修理が終わった後の様子が詳しく紹介されています。ご希望の方は郵送いたしますので、お申し付けください。



仏教講座中止のお知らせ

毎月第4土曜日におこなっておりました仏教講座は7月まで中止とさせていただきます。写経のお手本は毎月作成しておりますので、こちらもご希望の方は郵送いたしますのでお申し付けください。

またホームページからもダウンロードいただけますのでそちらもご利用ください。

皆様と早くお会いできる時を心待ちにしております。



慈母観音供養会参拝中止のお知らせ

7月24日(金)に予定しておりました慈母観音供養会は僧侶のみでお参りしますので、ご参拝はお控えいただきますようお願い申し上げます。



退職のお知らせ



野崎幸史 師

(在職期間：昭和61年6月～令和2年3月)

30年余り新善光寺に勤務いただいていた野崎師ですが、70歳という節目で本人からの意向により退職ということになりました。

なお、8月のお盆には、例年通りにお檀家の皆様宅へ、また彼岸法要など定例法要にもお参りを予定しておりますので、よろしく願いいたします。



新スリッパ完成しました!!

前号で公募しましたスリッパのデザインですが、おかげさまで多数のご応募をいただきました。どれも素晴らしいデザインでしたが、厳正なる審査の結果、藤原守様のデザインに決定いたしました。また、すぐにそのデザインのスリッパを発注し、先日納品となりまして、現在使用しております。



〈デザインコンセプト〉

新善光寺では最近色々なイベントを開催しております、若者が気軽に出入りできるよう英字をデザインし、仏の光=ロウソクを入れました。

Shinzen Koji

藤原様の経歴は以下のとおりで、定期的にさいとうギャラリーや大丸藤井セントラルで個展をひらかれています。かつてはマッチやレコードのジャケットのデザインもよくされていて、また刑事時代は絵の才能を生かし似顔絵を描いて事件を解決に導いた経験もあるそうです。

お写真の後ろの絵画は自ら描かれたもので中国の桂林の風景ということです。



〈略歴〉

- 1944年 6月 札幌市生まれ
- 1957年 3月 札幌市旭小学校第1期卒業
- 1960年 3月 札幌市八条中学校卒業
- 1963年 3月 北海道立札幌東高等学校卒業
- 1967年 3月 北海学園大学 法学部法律学科 第1期卒業
- 1967年 4月 北海道警察官 拝命
一貫して暴力団担当刑事として札幌西署、旭川署、札幌南署、北海道警察本部捜査第四課等歴任
- 1989年 9月 道警退職、勤続22年6カ月
- 1989年 10月 やまと・つばめグループ入社
- 2010年 11月 専務取締役営業本部長最後に定年退職、勤続21年

なお、今年の9月8日より大通美術館（大通西5丁目11-1）で新型コロナウイルス医療従事者チャリティー展をおこなう予定ということです。

ズッコケ尼さんの仏教こぼれ話②

〈“ありがとう”のチカラ～ 桜の季節にそえて〉



こまきね きんしょう
駒木根 琴生

樹木の新緑が春の陽射しに輝く美しい季節を迎えた。元々、心身に変調を来す春愁に新型コロナウイルス感染症への不安が加わり、心浮かない春となった。

樹木や花は厳寒の冬を耐え抜いたゆえに安らぎの徳を表す仏前の献花となった。お陰様でお浄土の愛する者達に、私達はお念仏の声に合わせて深い供養の念を届けて頂ける。

自伝的作品『放浪記』で名を成した林芙美子さんは「花の命は短くて苦しみことの多かりき」の通り、散る花に人間の無常を重ねている。時には、咲き乱れる花も激しい嵐に遇えば一夜で散ってしまう。この儚い短さに仏教の無常観を思い、日本人は桜に格別の愛情を抱いている。桜の命と人間の命との響き合う音色が五月の風に乗って巡って来る。

四十五年前の五月、長男は桜の花びらが散る如くお浄土へと逝ってしまった。あまりの突然の悲しみに花びらを拾わずに今に至る。

仏前公園の樹木医・小林勝氏いわく「桜には寿命は無い。確かに幹は、年々老齢化し、中は空洞化して洞穴になる。しかし、若枝あたりより、一種の気根が伸び出し、やがて地上の土に達して根づく。その時迄、親木は凛として見守り続けて頑張る」の説である。桜の果てなく、守り通す血脈の強い志に、私達人間も負けてはおられない。若者達の困難に耐える気根力を応援しなければなるまい。

この五月、七十九歳になる私は車の免許更新に迷いに迷った。社会背景を鑑みると、息子や孫達が大反対だった。免許取得して六十数年が経った。高齢者講習（含認知検査）をかなりの高得点で合格し、あと少し続ける決心をした。ズッコケにならぬ様にと心しての帰路、国道へ出るべく止まった角に一人の女子高校生を見つけた。ドアを開けて、「どうぞ」と手で合図した。小走りで渡り終えると足を止め、向きを変えて、私に向かって深々と頭を下げた。「ありがとうございました」の声が聞こえた。感動のあまり、一瞬止まってしまい、後車に急がされて発進した。こういう時には、高齢者ドライバーは焦ってアクセルをベタ踏みしがちだが、平日頃から気をつけているのに加え、講習後ということもあり、難なく発進できた。帰宅しすぐにその女子高生の事を夫に話した。セーラー姿の丁寧なお辞儀姿は今もはっきり甦り、感動だ。

英語圏の「Thank You」の意味の「ありがとう」を伝えるのが日本人は苦手と云われている。さりげない短さの中に大いなる感動・希望迄伝わって来る一言と、気づかせて貰った素晴らしい日だった。彼女達若者の存在は間違いなく厳しい壁を越える力となるだろう。吹き荒れるメイストーム（春の嵐）が収まり、新緑から深緑へと移行行くのを楽しみに、自粛を覚悟する毎日です。



増上寺の桜

春風に 扉あければ 南無阿弥陀仏

年中行事のはなし ③

4月より新年度となり、入学、進学、就職の他、3月で退職され新生活が始まったという方もいるでしょう。新しい生活に対して希望や期待を胸にしていた方も多いと思いますが、北海道では2月の末に新型コロナウイルス感染拡大防止のための「緊急事態宣言」が^{はっしゅうつ}発出され、4月には国の「緊急事態宣言」も発出されました。本原稿は4月中旬に執筆していますが、この寺報が皆さんのもとに届くころには、事態が収束していることを切にお祈りする次第です。

さて今回は、浄土宗の年中行事の中で「12月」と「1月」の行事についてお話ししました。今回は「2月」「3月」の行事についてお話していきましょう。

・2月の年中行事

41号記載の行事表では、2月の年中行事は3つ。「^{せつぶんえ}節分会」「^{ねはんえ}涅槃会」「^{ちんぜいき}鎮西忌」です。

節分といえば、豆まきのイメージで皆さんご存知だと思います。涅槃会は通仏教の行事。鎮西忌は浄土宗の行事になります。

・節分会

ご存知の方も多いと思いますが、節分は暦の上で「季節の分れ目」を意味することばです。旧暦の「立春・立夏・立秋・立冬」の前日を指し、特に立春は一年の始まりであると考えことから、特別にとらえられていたそうです。今年の節分は2月3日でしたが、この日には邪鬼を払うという意味で豆まきを行います。全国各地の寺社仏閣で邪鬼払いの行事としてこの節分会を勤めます。

・涅槃会

本来「涅槃」とは悟りの境地に至った状態のことで、人生の苦しみが消滅した状態を意味します。仏教を開かれたお釈迦さまは、お亡くなりになった（「^{にゅうめつ}入滅」といいます）ことで、身体的にも完全に「苦」から脱しました。それでこの釈迦入滅のことを「涅槃」と言います。涅槃会は2月15日に勤める法要で、「^{じくそん}釈尊三大法要」と呼ばれる法要の一つです。法要ではお釈迦様が涅槃に入られた時の様相を描いた「^{ねはんず}涅槃図」と呼ばれるものを奉りお勤めをします。

・鎮西忌

浄土宗の二祖である^{しょうこうぼうべんちやう}「聖光房弁長」上人（1162～1238）の忌日に勤める法要です。二祖さまは九州を中心にご活躍されたことから「^{ちんぜいしょうにん}鎮西上人」（「鎮西」は九州地方の別称）と呼ばれています。この聖光上人を開基とする福岡県久留米市の大本山善導寺では、毎年3月29日を含む数日にわたり、「^{かいざんき}開山忌」として盛大に勤められ

ています（御命日は2月29日ですが、月遅れで行われています）。

・3月の年中行事

3月の年中行事は「善導忌」と「春季彼岸会」となっています。その内の春季彼岸会は通称「春（の）彼岸」と言っており、私たちの生活の中でもメジャーな仏教行事ですね。善導忌は「高祖忌」とも言い、高祖 善導大師の忌日法要です。

・善導忌

善導大師（613～681）は、中国唐時代に活躍した僧です。法然上人は、この善導大師が撰述した「観経疏」という書物の中の「一心に専ら弥陀の名号を念じて行住坐臥に、時節の久近を問はず。念念に捨てざる者、これを正定の業と名づく。かの仏の願に順ずるが故に」という一文に出会い、阿弥陀様の極楽へどんな人でも往生できるとの確信を得られたと伝えられています。

法然上人がこの著書に導かれて開宗を決意したとされることから、善導大師は法然上人のお師匠さんにあたる方と言えます。よって、浄土宗ではこの善導大師を「高祖」と仰いでいます。我が宗のお念仏の教えをひろめる礎をつくった善導大師の忌日に勤める法要が「善導忌」です。

・春季彼岸会

お彼岸は一年に春と秋の二回行う行事です。どちらも春分・秋分の日を「中日」として、前後3日間ずつ、計一週間をその期間としています。春、秋ともに教義的な意味合いは同じです。法要を勤める日は「春分の日」、「秋分の日」が一般的ですが、これは「昼と夜の時間が同じ」つまり、太陽が真東から昇り、真西に沈むという日になります。

「観無量寿経」の中には、「極楽浄土のある西の彼方に沈みゆく夕日を観て、浄土を想え」という「日想観」という修行法が説かれています。日の沈む西方にある極楽への想いを手向け、先立った先祖を供養するのに適した時期がこのお彼岸であるということです。

また、この期間は信者さんの仏道修行をおすすめする期間となっています。「六波羅蜜の行」と言っており、「布施（施しの心をもつ）」「持戒（自らを戒める心をもつ）」「忍辱（耐え忍ぶ心をもつ）」「精進（日々無駄なく努める）」「禪定（冷静に自らを省みる心をもつ）」「智慧（物事の本質を見るよう努める）」の六つの実践項目のことを指します。彼岸の語源は、サンスクリット語の「パーラミター」であると言われ、その訳語が「到彼岸」、つまり「彼岸（悟りの境地）に到る」という意味になっています。

「この期間には六波羅蜜の実践を行い、彼岸へ到る心を養い功德を積む」というのがお彼岸の意義のひとつです。

仏教伝来の地をたずねて

前回までここは、「浄土宗あれこれ」と題したコーナーでしたが、今回より「仏法つれづれ」と銘打って、仏さまの御教え（御法）に関する事柄を通して感じたことを、お念仏者の視点でつれづれなるままに書いていきたいと思えます。

ある夏の日、大阪から近鉄電車に乗り、1時間ほどで奈良県桜井市に着きました。市内を流れる大和川（初瀬川）のほとりに、「仏教伝来之地」という石碑が建っています。今から1500年ほど前に、我が国に初めて大陸から朝鮮半島を経由して仏教が伝えられました。現在、仏教伝来の年代については、研究者の見解によってさまざまな論があります。では、浄土宗の宗祖であり、お念仏の元祖である法然上人（1133～1212）は、日本における仏教伝来をどのようにとらえておられたのでしょうか。「釈尊の在世に遇わざる事は悲しみなりといえども、教法流布の世に遇う事を得たるは、これ悦びなり。〈中略〉我が朝に仏法の流布せし事も、欽明天皇、天の下を知ろしめして十三年、壬申の歳、冬十月一日、初めて仏法渡り給いし。」と法然上人は仰せです。お釈迦さまがこの世におられた時に、そのお姿を拝することができなかったことは、残念ではありますが、今こうして仏さまの御教えを聞くことのできる世界に私たちが生きていることは、大変うれしいことです。法然上人は仏教に出会えたことの悦びをかみしめています。その尊い仏教が伝来したのが、欽明天皇の御代である552年であるという法然上人の受け止めです。1500年あまりの時を超え、今もなお私たちの心を和ませ、真の生き方を示す日本仏教の原点がこの地なのです。

「仏教伝来之地」をあとに、大神神社に足を進めました。鳥居の額には「三輪明神」と書かれてあります。参詣する人々は、その鳥居を通る時、必ずと言っていいほどおじぎをしています。また、ご神体である三輪山に登拝する方の中には、裸足で登山する方もいます。とても敬虔な雰囲気がある神域です。かつての三輪明神には、神社の中にお寺がありました。それを神宮寺といいます。明治期の神仏分離により、そのお寺は廃止され、そこにまつられていた十一面観音さまが、現在では車で20分ほど離れた聖林寺に安置されています。



聖林寺から望む三輪山方面

その観音さまにお会いするため、三輪明神の参道からタクシーに乗りました。運転手さんとお話ししている中で、「数年前、三輪明神さんがパワースポットとしてメディア等で取り上げられ、敬いの心のない人々により、境内の環境が悪くなったことがありました」と嘆いていたことがとても印象に残りました。神社仏閣は、静かに自らを見つめる祈りの空間でありたいものです。

聖林寺の十一面観音さまは、奈良時代に造られたとされ、1200年以上我が国を見守ってくださっています。そのお像は2m近い高さがあります。その大きさに圧倒されるのかと思いきや、いわく言い難いやさしさと、また威風堂々とした厳かなものを同時に味わったのでした。暑い最中ではありましたが、稲穂ゆれる大和路に行くよき旅となりました。

〈文：立花 俊輔〉



仏教伝来之地

ブラジルのおはなし①

海外での浄土宗の活動について ～ブラジル開教区での経験を通して

佐古 康祥



前回のほくえん 42号に記載の自己紹介にも書かせていただいたのですが、私は2011年3月より2015年の4月までブラジルにあります浄土宗南米開教区のサンパウロ日伯寺というところに勤めておりました。そこで経験した事や考えたことを3回に分けて掲載させていただきます。

そもそも「開教」というのは皆さま聞きなじみないと思うのですが、浄土宗ですと南米の他に、ハワイ、北米に開教区、フランス、オーストラリアに開教地というのがありまして、さらに日本国内にも開教寺院といわれるものがあります。

これは浄土宗の教えが広まっていない地域に浄土宗を広める為の拠点ということで、宗が場所を定めお寺を置いて活動することを開教といいます。南米ですと、サンパウロが本部で他にマリンガ、イビウーナ、クリチバという町に4つのお寺があります。

ブラジルで仏教のお寺というとピンとこないかもしれませんが日本以外の国で日系の人が住んでいるのは実はブラジルが一番多いので、浄土宗だけでなく伝統的な宗派の多くはブラジルに拠点を置いて活動しています。

ここで少しブラジル日系人の歴史の話をして致します。そもそもブラジルというのは比較的新しい国で1492年ヨーロッパの人間に「発見」されたことによりその歴史は始まり、多くの国の移民と共に発展してきた国です。そのブラジルに日本人が正式に移民を開始したのは1908年からになります。ここでは細かい話は書ききれませんが、戦前ブラジルに移民した方は日本では良い条件を聞いて来たのに、実際は酷い土地、労働条件の中で働いていた方も多いと聞いております。中には「おじいちゃんは日本に騙されて来た」「本当は帰りたかったのに帰れなかった」という話しも実際伺ったこともあります。

思い出すのは先輩僧侶と一緒に奥地の日本人が集団で移民をした地区の法要に伺った時のことです。そこで見せていただいた物は薄い板に俗名だけが書いてあるだけの「位牌」でありました。奥地で医者もおらず衛生的でもなければ食べ物も多くない、ましてやお坊さんなんていない土地です。住民が亡くなればその地区で少しお経を知っている長老のような人が位牌を作りお葬式をあげていたとのことでした。苦しい生活の中、日本から遠い地ではありますが自分たちのご先祖様たちと同じように送ってあげたいと想い、そこに住む仲間たちとできるやり方で送ってあげる、その地でまた私共が改めて回向をさせていただくということの意味を感じながら、お勤めさせていただいたことです。そこには宗教に対する純粋な気持ちがあったことかと思えます。



— お檀家タウンページ ～ともいき訪問⑱ (特別編) —

中村屋旅館

コロナに負けない!! 老舗ならではの“ぬくもり”あるサービスを

この企画も前回は早くも17回目を迎えました。始めたのは7年前、多くの方々にご協力いただき続けてこられました。

そこで今回は今一度原点に戻ろうということで、一番最初に紙面に登場をお願いしました中村屋旅館さんに伺ってお話を聞いてきました。

JR札幌駅から徒歩10分ほどにあります中村屋旅館は明治36年6月に創業。昭和33年に札幌駅前から現在地へ移転し、昭和48年に現在の建物を建てられました。

植物園のすぐ近くということもあり、都心ではありますが落ち着いた静かな環境です。

現社長は八尾師友美様で、はきはきとした性格で、お父様からの「義理とふんどしは外すもんじゃない」という言葉を大事にしていて、旅館のアットホームな心温まる雰囲気も、このようなところからきているのではないのでしょうか。取材の時にもご友人が差し入れに来られていたり、ご友人達からの「俺たちの集まる場所がなくなったら困るから頑張れよ」という言葉も励みになっているそうです。

新型コロナウイルスの影響で10日間ほどは休業されていましたが、現在は営業を再開されており、ランチは近くに官庁等が近いことから盛況ということです。





好評のランチ

昔からお参りの際には昼食を出していただいております、今年の2月にお母様で新善光寺婦人会の会員でもあられた中村瞳三四様がお亡くなりになられ、七日ごとの供養に毎週伺っておりましたが、その時も毎回天丼やおそば、カレーなどの美味しいお食事を出していただきました。

お料理はご自宅への配達もおこなっており、今年の12月28日まで“緊急企画”としてお弁当全品を30%オフ、そして通常10,000円以上のご注文で札幌市内に配達していたところ、5,000円以上のご注文で配達可能ということです。



お弁当

「配達でも旅館で出している味をそのまま出していきたい、食べて美味しいものしか入れない」という思いから本当に旅館の味そのものを味わえるように心がけているとのこと。ご法要などをご自宅でされる場合は特製木箱でお料理をお届けする「特別会席箱膳」もあります。

昨今、コロナウイルスの影響でご法事をご自宅におかれて少人数でおこなわれている方も増えています。大切な亡き人をご供養する機会に、美味しいお食事を囲み味わいながら、思い出を語りあうのはいかがでしょうか。そこに亡き人の今というものが皆様の中のスッとあらわれてくるはずです。



特別会席箱膳



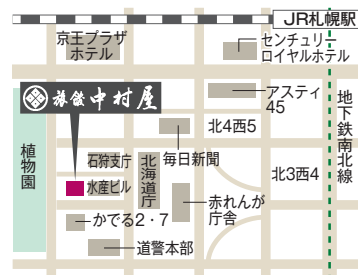
旅館 中村屋

札幌市中央区北3条西7丁目
(植物園正門前)

TEL 011-241-2111

FAX 011-241-2118

URL <https://www.nakamurayaryokan.com>



《清瑋寺だより》

4月25日、清瑋寺本堂にて新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた人々のご回向と感染の早期終息、感染者の早期回復を願い吞龍上人の御宝前において祈願法要を行いました。

「善いことも 悪いことも 受け止めて 最善を尽くす」

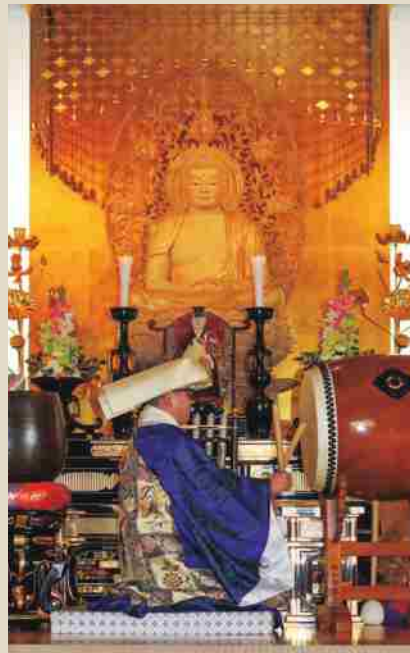
この言葉は、今年初めにご郵送いたしました年回表（縦長）に書いてあるお言葉です。

現実には起きている事を受け止め（今は善いことよりも悪いことの方が多いかとおもいます）、一人一人がそれぞれできる限りの最善を尽くすこと。それが何より新型コロナウイルスの早期終息に向かうひとすじの光となることを信じ、みんなで共に感染防止に努めて参りましょう。

今回感染防止の為、住職一人で勤めましたが、また本堂に檀信徒の皆様のお念仏の音が響きわたる日が早く訪れることを願いながら、お寺も感染拡大防止に日々努めて参ります。

合掌

（住職 太田光顯）



《納骨堂のご案内》

様々なタイプの納骨壇があります。どうぞ、是非ご見学にお越しください。



札幌市手稲区西宮の沢5条1丁目19-35 清瑋寺

TEL 011-668-5110

しろいし幼稚園から

新型コロナウイルスの流行がなかなか収まらない状況ですが、皆様、お元気で
お過ごしでしょうか。

白石幼稚園も、2月末から、臨時休園や自由
登園等様々な措置をとりながら運営していま
す。3月の卒園式や4月の入園式は、内容を
変更し時間短縮や保護者の方の人数制限等、
例年とは違う形で、何とか開催できたとい
うような状況です。入園式の翌々日から再
度臨時休園となっており、現在は医療従事
者の方など家庭保育をするのが難しい状
況にある方のみ、預かり保育でお子さん
をお預かりしています。



新型コロナウイルスに対する対策として、3
密（①換気の悪い密閉空間 ②大勢がいる密集
場所 ③間近で会話する密接場面）を避ける事
が必要不可欠と言われていますが、幼児期の子
どもたちをお預かりする集団生活において、難
しい場面があるのが現状です。もちろん、換
気や消毒噴霧器・アルコール消毒液の設置な
ど、園として出来る限りの環境を設定してい
ますが、子どもたち同士の遊びや関わりの中
では、距離をおいて会話をしたり、遊ぶとい
う事が成り立たないのです。おままごとや
鬼ごっこ、砂場遊び…子どもたちの遊びを
少し想像してみると、お分かり頂けるかと思
います。そんな中で、幼稚園でクラスターが
起きないようにしながら、いかに子どもたち
の育ちを保証していくのか…という課題を私
たち幼児教育の現場も突き付けられているの
です。

緊急事態宣言が延長され、それと共に休園も
延長となり子どもたちのストレスもかなり溜
まってきています。“いつもと同じように”
“普段通りに”過ごせる場所が、このような
非常事態の時には、子どもたちにとって必
要です。幼稚園の保育を再開できることが
一番ですが、そのほかに、“私たちが今子
どもたちに出来ることはなにか”という事
を職員一同、日々模索しながら過ごしてい
ます。

新型コロナウイルスは世界的な流行となり、
まだまだ収束しそうにありませんが、皆
様も感染予防に努めながらどうぞ、お気
をつけてお過ごしください。

学校法人新善光寺学園 **しろいし幼稚園**

〒003-0028 札幌市白石区平和通1丁目南6番16号
TEL 011-861-4426 FAX 011-866-0707 Email siroisi-pippara.ed.jp

慈啓会から

慈啓会病院 検査部より

検査部では、医師が適切な診断や治療を行なうため、患者様を直接検査したり、患者様から提供される血液や尿を専門的に分析し、情報提供をしています。外来や入院において様々な検査を実施しており、糖尿病や脂質代謝異常といった生活習慣病、炎症状態を診る検査等は当日の診察迄に結果報告をしています。また、病気の早期発見や予防を目的として各種健診も実施しております。



今回は、『健診・人間ドック・検診』の違いについて簡単にご説明いたします。

「健診＝健康診断」は、全身の健康状態をチェックする目的で行われ、国の法律で定められた「法定健診」と個人の判断で受ける「任意健診」があり、一般的には問診、身体計測、血圧、検尿、血液検査等を行います。「人間ドック」は、より詳細に健康状態を調べる健康診断のことで、一般的な健康診断に加え、CT検査、胃内視鏡検査、超音波（エコー）検査など充実した検査が含まれます。



一方、「検診」は特定の臓器に対して異常があるかないかを診断するものです。たとえば、胃がん検診、大腸がん検診など各種がん検診がこれにあたります。

当院では病気の早期発見・早期治療により健康維持のお手伝い出来るよう、個人健診、ドック健診、企業健康診断等各種健康診断、オプション検査をご用意しておりますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

慈啓会病院 各種健診のご案内

健診内容	健診コース				人間ドック	
	A	B	C	D	日帰り	2日間
健康診断	○	○	○	○	○	○
人間ドック		○※	○※	○※	○	○
身体測定・尿検査・胸部X線	○	○	○	○	○	○
心電図検査		○	○	○	○	○
血液検査		○※	○※	○※	○	○
感染症検査（肝炎ウイルス・梅毒）					○	○
動脈硬化検査・骨塩定量					○	○
腹部超音波検査					○	○
CT検査					頭・胸	頭・胸・腹
内視鏡検査					胃	胃・大腸

※血液検査の内容はコースによって異なります

札幌市健診	とくとく健診 後期高齢者健診 肝炎ウイルス検査	大腸がん検診 前立腺がん検診	胃がん検診 胃がんリスク判定
-------	-------------------------------	-------------------	-------------------

上記以外にも札幌市の健診企業健診、各種社会保険健診も実施しております。各健診内容、料金等は当院ホームページをご参照、またはお電話にてお気軽にお問い合わせください。

実際の健診の流れを紹介します。(ほくえん 30 号の再録になります)

一般的なコースを受診しました。



さあ、まずは予約時間に合わせて病院に行きます。シャトルバスも出ていますよ。



受付で必要事項を記入します。



まずは血液検査で、採血をします。そして血圧・身長・体重・腹部周りをはかります。



次は胸部X線（レントゲン）です。上半身を着替えて撮影、すぐに終わりました。



そして聴力検査・心電図検査です。こちらもサクサクと終わりました。



最後に診察です。診断結果を見ながら先生が指導して下さいます。結果は…。

全体で大体1時間弱の健診で、検査はとてもスムーズに進みました。明るく開放感溢れる院内で快適に受診できました。色々と生活習慣を見直し、また受診しに行こうと思います。

診療科目：内科・老年内科・循環器内科・呼吸器内科・精神科・リハビリテーション科・放射線診断科

受付時間：平 日：午前9時～12時／午後1時30分～5時
土曜日：午前9時～12時（内科のみ）
日・祝日・年末年始は休診日です

※事前にご予約されたほうがスムーズに受診できます。

社会福祉法人 さっぽろ慈啓会 慈啓会病院
〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番50号
TEL 011-561-8292 FAX 011-551-3862

お寺の額縁・色紙を紹介します⑮

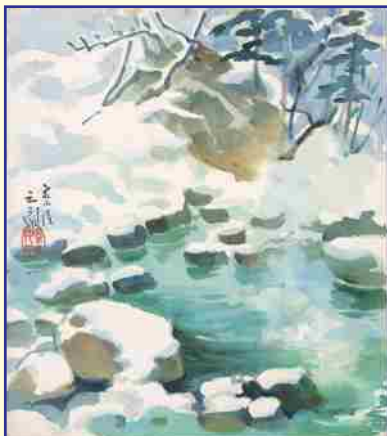
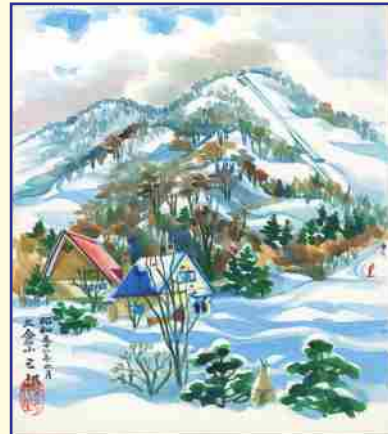
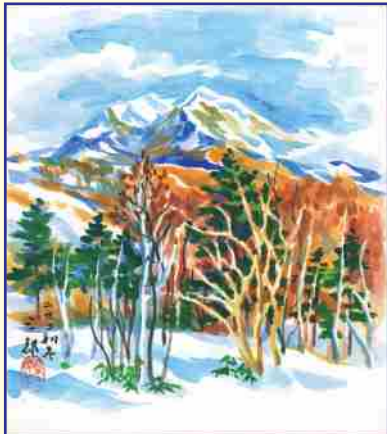
22 「1980年涛沸湖畔」 (繁野三郎氏)

この額は、玄関入ってすぐの2階（お葬儀や法事後の会食や法要の時の昼食会場です。）にかけてあります。

札幌出身の画家・繁野三郎（1894～1986）氏が描いたものです。サインの脇には「1980年涛沸湖畔」とあります。

涛沸湖は、道東の網走市と小清水町に位置する海水と淡水の入り混じる湖です。はまなす等の花々が咲き、牛や馬たちが草をはんでいます。生命力あふれる絵画です。

繁野三郎氏の色紙も4点あります。定山溪を描いた冬景色。昭和50年2月の大倉山。ニセコの初冬の風景。色鮮やかな菊。やわらかなタッチで心が和みます。



北縁 なんでも Q & A

いつも北縁をお読みいただきありがとうございます。

世間では連日新型コロナウイルスまん延の報道がなされています（4月12日現在）。外出自粛の要請等が続く中、本寺報が皆さんの在宅中のお供になれば幸いです。

今回もお葉書での投稿、写経会のご参加の方からのご質問にお答えしていきたいと思えます。

また、本紙添付のハガキでも引き続きご質問、感想を募集しています。どうぞよろしく願います。

Q 自分ひとり親族から離れて生活しています。
もしもの時どうしたらよいものかいつも考えます。

A こちらはご質問というより「不安な気持ちをどのように消化したらよいのか。」という事もあるかと思えます。このような時は、ひとりで抱え込まず、ご友人知人に、またはお寺さんでも結構ですとお話になると気が晴れかもしれません。

ご質問者だけでなく、長寿大国となったこの日本では、高齢者となっても多くの方がお一人で生活をされています。日常の生活に関して言えば、地域の民生委員の見守りなど行政のサービスがあります。また、自分に頼れる縁者がなく、逝去後の様々な手続きを代行してくれる「成年後見人制度」という制度をご利用されている方も最近が多いようです。

さて、お寺に関連することとしては、万が一の時、すなわちご自身のお葬儀に関して、またはその後の供養についてお手伝いすることは可能です。お葬儀に関していうと、ご自身の葬儀をどのように執り行いたいかというお話の中で、様々な事例を紹介することができますし、生前戒名をお渡しすることも出来ます。葬儀の後のことについては、ご遺骨の安置に関してのご提案や永代供養の受付などについてご相談をさせていただく事ができます。

いずれにしても、おひとりでお悩みであれば、お寺に一度ご相談することで解決できることがあるかもしれません。

Q 葬儀の際、お焼香までの所作、
またはお焼香の順番など教えてください。

A 札幌近郊での一般的な葬儀式のことで回答させていただきます。

葬儀式は「通夜」「告別式」「還骨法要」と三座勤めるのが一般的です。一般会葬の方は通夜か告別式のどちらか、もしくは両方の儀式に会葬します。会場には少し早めに伺って、受付にてお香典を渡し、式の前に仏前へお線香を手向け、喪主様にお悔みのご挨拶をすると良いでしょう。式が始まりますと、通夜では「回し焼香」、告別式では「出焼香」という形で焼香を行います。回し焼香では、順次焼香が回ってきますが、出焼香は、喪主、親族、一般会葬者の順に焼香を行います。司会がいる場合はそちらからの案内がありますので、呼び出しがあったら仏前に進みお焼香します。

お焼香の仕方は、

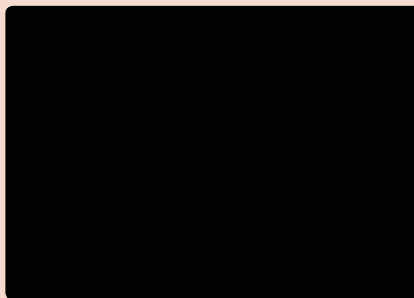
- ① 合掌し浅く礼
 - ② 香をつまみ額のところに香をいただく
 - ③ 火のついた香炭へ香をくべる
 - ④ 合掌し浅く礼
- の順番でご焼香します。

焼香の回数は「一心に故人に供養の気持ちをお伝えします」という意味合いのある一回をおすすめします。（おすすめの回数は宗派によって異なる場合があります）



東京別院 霊源寺から

東京都品川区にある東京別院霊源寺では、春と秋に彼岸法要とお盆のお参りをおこなっており、また新善光寺のお檀家様で東京近郊にお住まいの方の法要（法事・葬儀・月参り）などもとりおこなっております。新しいタイプの納骨堂もあり、立地面や価格面からも好評を得ています。どうぞ、お気軽にお問合せください。



〈ベンチを設置しました!!〉

境内の石庭前にベンチを2本設置しました、DIY好きの佐古僧侶（11ページ執筆担当）に作ってもらい、お休み処として使っていただけようになりました。さっそく座ってみました、これが非常に落ち着くというか安らぐという感じです。

どうぞ、お参りの際は石庭前のベンチ座って、落ち着いた時間をお過ごしください。



編集後記

今号も遅くなりましたが、なんとか発行とあいなりました。

新型コロナウイルスの影響は寺院業界にも暗い影を落としております。そのような先が見えない時に、寺は、僧侶は、何をしていくべきかということが問われているような気がします。

その中で色々なツールでのお参りを提案することも大事と考えております。定例法要や朝のお参りをYouTubeで動画配信したり、各家の法事をオンライン（ご自宅と寺を中継し法要をおこなう）でおこなったりと、技術が発達し以前では不可能であったことができる世の中になっております。それぞれのご事情に合わせてご供養というものを一緒に考えていきたいと思っておりますので、もしお迷いのことなどがあれば是非お気軽にお問合せください。

（真海）

※新善光寺の日々の情報は各種SNSにて公開しております。どうぞ、そちらもご覧ください。そしてこの「ほくえん」のご感想もお待ちしております。

新善光寺

検索



新善光寺寺報
Hokuen 43
北 縁

発行 / 2020年5月発行

発行責任者 / 新善光寺住職 太田真琴

〒064-0806 札幌市中央区南6条西1丁目 [TEL] 011-511-0262 [FAX] 011-511-4706

[ホームページ] <http://s-zenkoj.com> [Eメール] s-zenkoj@crux.ocn.ne.jp